

# 優秀賞

## ○設計者

# 川合 智明

- 大阪府建築士会
- (株)竹中工務店 大阪本店設計部



## ○寺院・展示施設

きよこうじんせいちょうじ  
**清荒神清澄寺 史料館**

- 兵庫県宝塚市米谷

## ▶▶▶ 選 評

歴史的な刹境内の要の位置への配置計画において、出過ぎず引き過ぎずの配慮。そして大きさを抑えた平面、立面計画、周辺の庭園への配慮から、過剰さを抑えたガラスの多用等々、デザインの抑制を設計方法として貫き通していることにおいて、じつに成熟した建築デザインである。最大級に評価したい。

関西の設計者の特権でもある和様の瓦屋根のスタディにも実体験的な素養が生かされている。日本の伝統的宗教建築の近代化デザインとして十二分な成果を示している。無いモノねだりの苦情を敢えて申すならば、精度が高過ぎるのである。それ故古典的仏教建築が所持する古拙さ(アルカイック)な高雅さには届いていない。しかしそれは時間がもたらせるモノでもあるかも知れぬ。

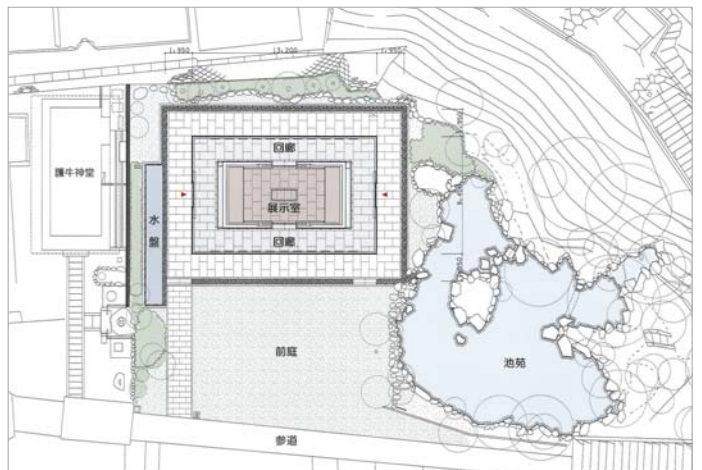
(石山修武)



A



境内配置図



平面図



B



C



D



E

- A : 山林に抱かれた境内の景観に調和しつつ、端正な屋根の存在が浮かび上がる  
 B : 暗闇が訪れる前のひととき、光の中に屋根が浮かび上がる印象的な姿を現す  
 C : 光天井から柔らかい拡散光が降り注ぐ展示室は、展示物が自然に浮かび上がるようにダークグレーで統一している  
 D : 回廊は両面にストライプ状のエッチングを施したガラスルーバーにより表情が変わり、内外が見え隠れする空間としている  
 E : 本瓦葺きの屋根、軒先ディテール。瓦は新たに型をつくり美濃で焼いた

写真撮影：古川泰造

- 構造・階数：RC造、地上1階建、地下1階
- 敷地面積：15,864.46㎡
- 建築面積：163.24㎡
- 延床面積：221.76㎡
- 竣工：2008年10月31日